

2019 年延世大学スプリングスクール派遣報告書

京都大学法学部 1 年 大額 祥聖

私は今回の短期留学プログラムが自身初の留学体験でした。ここでは主に留学をしたことで得られた体験や自身の将来、進路に留学がどのような影響を与えたのか述べたいと思います。

第一に言いたいことは“韓国に興味があるならこのプログラムに参加すべき”ということです。このプログラムは約3週間延世大学の語学堂で韓国語だけの環境に身を置き、韓国語を学ぶものです。このプログラムでは本当に韓国語を使う機会（主に話す、聞く）が多く、日本で韓国語を勉強する1年間の密度を3週間で得られることができます。もちろん日本人だけでつるんでばかりでは得られません。語学堂でクラスに編入されますが、当然ほとんどクラスメイトは外国人ですので会話も韓国語での会話になります。はじめは自分の意思を伝えるのに言葉がすぐ出てこず、苦戦しましたが、最後の方には会話に慣れスラスラと出てくるようになりました。聞く力も毎日街中に出かけて行ったことで、韓国語にたくさん触れ会話がはっきりわかるようになりました。このように日本では鍛えにくい、「話す力と聞く力が鍛えることができる」のがこのプログラムの魅力です。

韓国語力が伸びるのはもちろんですが、ほかにもこのプログラムで得られたものがあります。むしろ自分はこっちの方が得ることができて良かったと考えています。それは“人との出会い”です。今回のプログラムで様々な人種、多様な価値観を持つ人々に会うことができました。彼ら、彼女らから得た自信を見つめなおすきっかけ、価値観は何事にも代えられない唯一無二の宝物です。これは日本では得ることが相当難しい、ましてや不可能ではないのかなとさえ思うほどです。また語学堂で韓国語を勉強している人々は大学生にとって年上の場合がほとんどで、多くの人生経験や、これからの人生設計に関してのアドバイスを話してもらうこともできました。皆多くの野望、将来設計を持っていてそれらを聞くだけでも面白かったです。「本当にいろんな人と会うことのできるプログラムである」というのもこのプログラムの光るところだと思います。

最後に、今回のプログラムでは韓国語が上手になったのはもちろん、自身の物事の考え方も多様化し、良くも悪くも海外と相対化した際の、日本の特徴を知ることができました。今でも連絡を取り合っている、このプログラムで知り合った友達があります。このように国境を越えた関係も築くことができたのもこのプログラムのおかげです。韓国語に興味がある人はもちろん、自身を見つめなおしたい人など、必ずこのプログラムに参加して損はないと思います。